

タイトル	最後の11年間
著者	本城，誠二；Honjo, Seiji
引用	北海学園大学人文論集(64)：7-15
発行日	2018-03-31



本城誠二教授

最後の 11 年間

本 城 誠 二

人文学部には 2007 年（平成 19 年）に経済学部から移って来ましたので、11 年在籍したことになります。1980 年（昭和 55 年）に北海学園大学に赴任して、1998（平成 10 年）に教養部が解体してから、2000 年（平成 12 年）までの 3 年は共通教育研究部に、その後 2006 年（平成 18 年）まで 6 年間経済学部において、人文学部が最後の教授会となりました。

北海学園大学で務めて 27 年たった後、はじめて自分の専門の研究とかかわる学部にも所属することができました。その間に教養は共通教育そして一般教育と名前は変わりましたが、実は共通教育の講義科目として 1998 年から人文学部に異動するまで「現代文化論」という科目を担当していました。科目名は「現代文化論」ですが、内容としては「アメリカ文化」を全学の学生に 9 年間教えてきました。アメリカの音楽や映画をあつかう科目だったせいか履修者が 700 人をこえて 2 クラスに割ったり、2 部の 1 クラスも入れると合計で 1000 人をこえて試験の採点が大変だった記憶もあります。人文学部ではほぼ同じ内容、しかし履修者は 90 名弱の「アメリカ文化特論/北米文化論」を先日おえて、実質的に大学最後の講義となりました。

そういう意味で「アメリカ文化」の講義は前にもできましたが、専門演習は本当にはじめての経験でした。2009 年の最初の演習Ⅰ・Ⅱ（3 年）は計 11 名、そして演習Ⅲ・Ⅳ（4 年）の時はこれも初の卒業研究の指導。後期の演習Ⅳはゼミ仲間の卒業研究をおたがいに聞いて、コメントやアドバイスをするという方式で、指導教員と学生が一对一で進めるよりも、仲間意識の育成、論文の書き方を確認するというような意味でよかったと思っています。最後に学生部から半額補助をもらって A5 版、125 頁の「卒業

研究論文集」を作ってゼミ生に配りました。

そして2016年度は大学院の講義を担当。修士課程の1～2年生、英米と日本文化の院生もふくめて女子学生3名と1年間アメリカ文化について学びました。やはり学部とはちがう院生の学びの姿勢や学力を実感できました。

学部の仲間が本を出版するのに刺激され、専門書ならぬ文化エッセイ本を出すことができました。アメリカ文化についてのエッセイ集は、2008年からはじめたブログを編集したものでした。自分も本をだしたいと思いましたが、研究論文で1冊は難しい。論文本数＝字数は足りるけれど、統一的なテーマの設定ができないので、あきらめました。それで思いついたのが、8年分のブログからアメリカ文化・文学に関する部分をピックアップして編集してみようというアイデアでした。思ったよりも映画について書いていました。またアメリカ文化をポピュラー・カルチャーから読み解く視点とブログというメディアが、自由で軽快で横断的な共通点からあっていたようにも思います。

38年前に教養部の英語講師として赴任して、最後に人文学部で自分の研究分野に近い同僚と同じ職場で働くことができて幸せでした。一方で一般教育の英語の教員でもありましたので、担当講数の関係から学部の専門教育への貢献はあまりできなくて申し訳なく感じてもしました。でも学部がカリキュラムに一般教育の科目を積極的に取り込む「新入文学」を方針としていることに勇気づけられる思いもありました。

自分のおかれている立場や研究領域が、大学設置基準の大綱化や文学離れなど常に時代の流れに左右されてきたような気がします。でもそのことによって組織や研究と教育の意味を考えざるを得なかった状況を今ではよかったと思っています。

最後に教授会の皆さま、事務の皆さま方のご健康と人文学部のますますのご繁栄を祈って筆を置きます。ありがとうございました。

履 歴

1952 年 3 月 9 日札幌生まれ

学 歴

1964 年 札幌豊平小学校卒業
1967 年 札幌八条中学校卒業
1970 年 北海道立札幌西高等学校卒業
1975 年 北海道大学文学部卒業
1979 年 北海道大学文学研究科英米文学専攻修士課程終了

職 歴

1980 年 北海学園大学 教養部講師（英語担当）
1998 年 北海学園大学 共通教育・研究センター助教授（英語，現代文化論担当）
2001 年 北海学園大学 経済学部教授（英語，現代文化論，外国文学担当）
2007 年 北海学園大学 人文学部教授（英語，北米文化論，専門演習担当）
2016 年 北海学園大学 人文学部教授（英語，アメリカ文化特論，大学院担当）

担 当 科 目

一般教育科目：英語リーディングⅠ・Ⅱ，英語文化演習Ⅰ・Ⅱ
専門科目：基礎演習，人文学演習，専門演習，アメリカ文化特論
大学院：英米文学特殊講義

学 内 委 員

教養部：教務委員，入試委員，学生委員，入試出題委員

経済学部：教務委員，入試委員，共通教育委員，共通教育委員会委員長
人文学部：協議員，教務委員，教務センター長（2010～2013 年），入試制度
検討委員，キャリア支援委員

研 究 歴

1989 年 カナダ・レスブリッジ大学交換教授
1996 年 米国ペンシルバニア大学客員研究員
1997 年 英国ロンドン大学キングズ・カレッジ客員研究員
2001 年 米国コロンビア大学客員研究員

所 属 学 会

日本英文学会，日本アメリカ文学会，日本アメリカ学会，MLA（米国現代
語学文学協会）

学 会 役 員

日本英文学会北海道支部評議員，運営委員
日本アメリカ文学会 代議員（2012 年～現在に至る）
日本アメリカ文学会 北海道支部 事務局長（2006～2011 年）
同 支部長（2012 年～現在に至る）

研究業績

1. 単著

『Crossing Borders — ジャズ／ノワール／アメリカ文化』(2016年3月, 英宝社)

2. 論文

- 1) 「ヴァージニア・ウルフの小説における時間」(修士論文)『北海道英語英文学』第24号(1979年77)
- 2) 「生の記号としての時間」『北海学園大学 学園論集』第48号(1984年7月)
- 3) 「Metalanguage としての Nonsense」『北海学園大学 学園論集』第52号(1985年12月)
- 4) 「小説の時間をめぐって」『北海学園大学 学園論集』第55号(1986年12月)
- 5) 「出口なき探究 — ポール・オースターのニューヨーク三部作をめぐって」
『主題と方法』, 北海道大学図書刊行会(1994年2月)
- 6) 「ハードボイルドにおける家族という神話」『北海道アメリカ文学』第14号(1998年年6月)
- 7) 「都市文学としてエルロイの『LA 4 部作』を読む」『北海道アメリカ文学』第16号(2000年6月)
- 8) 「ヒップホップという亀裂」『ポストモダン都市ニューヨーク — グローバリゼーション, 情報化, 世界都市』所収, 松柏社, 2001年12月
- 9) 「ニューヨークと黒人映画のポリティクス」『ポストモダン都市ニューヨーク — グローバリゼーション, 情報化, 世界都市』所収, 松柏社, 2001年12月
- 10) 「LA ノワール, ディストピアを夢見る — 映画 *Chinatown* における都市表象をめぐって」『北海道アメリカ文学』第21号(2005年7月)

- 11) 「Black Face, White Skin — 『ジャズ・シンガー』における人種の政治学」『北海道アメリカ文学』第24号（2008年6月）
- 12) 「Drop the Beat — ヒップホップとポストモダニティ」北海学園大学『学園論集』第142号（2009年12月）
- 13) 「妄想のアメリカン・ドリーム — 『何がサミイを走らせるのか？』をめぐって —」北海学園大学『人文論集』第55号（2013年8月）
- 14) 「聖なる野生と繰り返す越境 — コーマック・マッカーシーの『越境』をめぐって —」, 『ロード・ナラティヴ』所収, 金星堂（2015年4月）
- 15) 「周縁からの視線 — 人文学/文学/文化をめぐって —」
シンポジウム「人文学の新しい可能性」北海学園大学『人文論集』第56号（2015年3月）

3. 口頭発表

- 1) 研究発表「ヴァージニア・ウルフの小説における時間」
日本英文学会 北海道支部第23回大会 北海道大学 1978年10月
- 2) 研究発表「探偵小説とジャンルの迷宮 — ポール・オースターの作品を中心に」
日本アメリカ文学会 第33回全国大会 南山大学（名古屋） 1994年10月
- 3) 司会 シンポジウム「都市とアメリカ文学」日本英文学会 北海道支部第44回大会 北海学園大学 1998年10月
- 4) 講師「Radical Groove of Hip-Hop Vernacular — ラップの意味が向かうところ」
シンポジウム「グローバリゼーション, 情報化, ポストモダン都市ニューヨーク」
日本アメリカ文学会 北海道支部第10回大会 北海学園大学 2000年9月
- 5) 講師「ヒップホップという亀裂」シンポジウム「グローバリゼーション, 情報化, ポストモダン都市ニューヨーク」日本アメリカ文学会

第 39 回全国大会 同志社大学 2000 年 10 月

- 6) 講師「ゴスペルの水脈」シンポジウム「ソニック・アメリカ」日本アメリカ文学会 北海道支部第 13 回大会 北星学園大学 2003 年 11 月
- 7) 講師「L.A. ノワール, デイストピアを夢見る」シンポジウム *California Dreams, California Nightmares*
日本アメリカ文学会 北海道支部第 14 回大会 札幌大学 2004 年 12 月
- 8) 司会・講師「Jewish Jazz Singer with Black Face — ユダヤ人と黒人の交差する『ジャズ・シンガー』」
シンポジウム「アメリカにおけるユダヤ的なもの — 文学・音楽・映画表象をめぐって」日本アメリカ文学会 北海道支部第 17 回大会 藤女子大学 2007 年 12 月
- 9) ワークショップ・コメンテータ 名古屋アメリカ研究夏期セミナー 南山大学 2009 年 7 月
- 10) 講師「Frantic Runner and What Makes Sammy Run?» シンポジウム「ロサンゼルスの文学的表象」, 日本アメリカ文学会 北海道支部第 20 回大会 北星学園大学 2010 年 12 月
- 11) 講師「野生の侵入と帰還 — コーマック・マッカーシーの『越境』をめぐって —」シンポジウム「『亡霊』で読むアメリカ文学〜フォークナー, ゴールドスタイン, C. マッカーシー〜」日本アメリカ文学会 東北支部 東北大学 2011 年 6 月
- 12) 講師「ジャズのスピリチュアリティと 60 年代」シンポジウム「60 年代合衆国音楽と対抗文化 — 文脈と微視」日本英文学会 東北支部大会 岩手県立大学 2012 年 11 月
- 13) 講師「ポストモダン小説考える — 乱反射するテキスト『重力の虹』」シンポジウム「文学史を読む」日本アメリカ文学会 北海道支部第 22 回大会 北海学園大学 2012 年 12 月
- 14) 研究発表「聖なる野生と繰り返す越境 — コーマック・マッカーシー

の『越境』をめぐって——」

日本アメリカ文学会北海道支部第 163 回研究談話会, 札幌市立大学
2013 年 4 月

- 15) 講師「周縁からの視線——人文学/文学/文化をめぐって——」シンポジウム「人文学の新しい可能性」北海学園大学人文学会 北海学園大学 2013 年 11 月
- 16) 司会 シンポジウム「物語はジャンルを横断する」日本アメリカ文学会 北海道支部第 23 回大会 北海学園大学 2013 年 12 月
- 17) 司会 シンポジウム「日本アメリカ文学会人文学の新しい可能性 (2)——安酸敏眞『人文学概論』を読む——」北海学園大学人文学会 北海学園大学 2014 年 11 月
- 18) 研究発表「文学研究とカルチュラル・スタディーズ ブログ～本作りをめぐって」
日本アメリカ文学会北海道支部第 177 回研究談話会, 札幌市立大学
2016 年 4 月

4. 翻訳

- 1) 「二人の聖職者」(R・ポーシュ), 「夏の読書」(B・マラマッド), 『しみじみ読むアメリカ文学』所収, 松柏社 (2007 年 6 月)

5. 辞書執筆参加

『リーダーズ・プラス』研究社 (1994 年 6 月)

6. テキスト注執筆

『コモンセンス』南雲堂 (1999 年 10 月)

『英語リーディング 2016』(2016 年)

7. その他の講師等

- 1) 北海学園大学経済学部公開講座 第 5 講講師「アメリカニズムという物語」2004 年 11 月 13 日
- 2) 千歳市市民教養セミナー講師「アメリカ文学とジャズ」ホテル日航千

歳 2008 年 7 月 5 日

- 3) 北海学園大学人文学部公開講座第 2 回講師「文学から映像への越境」
2008 年 11 月 1 日
- 4) 創造学園豊平塾講師「アメリカニズムという物語」月寒公民会館
2011 年 6 月 2 日
- 5) 創造学園豊平塾講師「アメリカと映画の世紀」月寒公民会館 2012 年
7 月 12 日
- 6) 北海学園大学 開発研究所シンポジウム討論者「現代社会に求められる
能力養成に向けた教育的課題と展望」 2012 年 12 月 8 日
- 7) 創造学園豊平塾講師「映画についての個人的な視点」月寒公民会館
2013 年 6 月 20 日
- 8) 北海学園大学公開講座 講師「マクベスとモダンの黄昏」 2015 年 7
月 11 日
- 9) 北海学園大学人文学部「人文学の挑戦」紀伊國屋 2017 年 3 月 25 日